

No wedding Saturday within the month of June  
But what it is, is something true  
I JUST CALLED TO SAY I LOVE YOU-Stevie Wonder



22 強靱な翼をもつペガサス

今月は校正事例の紹介です。いずれもアラレスが実際に校正業務を請け負った教材で見つかったものです。

### 【校正事例 誤字】

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| ① 以下の問題に答えなさい。    | ② 机を縦に並べて、…    |
| ③ 野球が上手な友達があります。  | ④ …を簡潔に説明しなさい。 |
| ⑤ ボールをま2つにしたものです。 |                |

- ① 以前にもご紹介しましたが、OCRで読み取ると、「問」は、「間」や「聞」になったりします。
- ②・③ 「縦」「達」は異体字が使用されているケースです。
- ④ 「説」と「設」は、どちらも「せつ」と読めるので見逃しやすいです。
- ⑤ 「ま2つ」を「まっぷたつ」と読ませたかったのでしょうか。

どれも文の意図は理解できるので、問題を解くことに支障があるとは言えないのですが、おかしい日本語が教材に存在すると、教材としての資質が疑われてしまいます（アラレスとしては、校正作業の資質が疑われてしまう）。ぜひとも拾い上げたいところです。

### 【校正事例 「僕」と「私」】

僕はサッカー一部でキーパーを…。…だと、私は思います。

英語の解説の全訳で、主語に「僕」と「私」の両方が使われているケースです。確かに、どちらかに統一していないと不自然ですね。他教科でも、生徒の対話形式で構成される問題が増えてきていますので、気をつけたいです。

### 【校正事例 漢字読み問題の答え】

①(1)あか (2)み (3)がっ (4)青

読みを答えるので、(4)は「あお」が正しいのですが、正答が漢字変換されています。入力時にスペースキーを押してしまったのでしょうか。これも意外と見落とししやすいケースです。

#### 業務連絡

当然ですが、請け負った案件の内容（教材名やテスト名を含む）をHP・ブログ・Twitterなどで公開してはいけません。

校正事例には、特殊なものもありますが、基本は、内容校正：解き直し、文字校正：誤字脱字・整合性のチェックです。また、チェックした箇所には鉛筆で✓マークや下線など作業痕を残すことも、基本的なことですが、とても重要なことです。

最近の納品物の中に、鉛筆の作業痕がないものがいくつかありました。鉛筆の作業痕は、「校正対象を漏れなくチェックしました。」という証です。必ず、チェックした箇所には鉛筆で✓マークや下線などを入れてください。



文責：沈黙のひつじ